



さかそう通信

Sakaso

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」～ 自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人(人財)を大切にする【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。市民の皆さんに出来るだけ分かりやすく阪南市政のことをお届けしようと思っております。「さかそう通信」も、今回で第10号になりました。この間、皆様はこの市政報告書に対してたくさんのご意見や激励のお言葉を頂きまして本当にありがとうございます。これからも、ますます頑張っていきたいと思えます。さて今回の「さかそう通信」は、私がかねがね申しております「良いものは良い、ダメなものは改善」いわゆる何に対しても「是々非々」というスタンスについて。福山敏博市長2期目2年目ということで、福山市政の「是々非々」についてお話ししたいと思います。

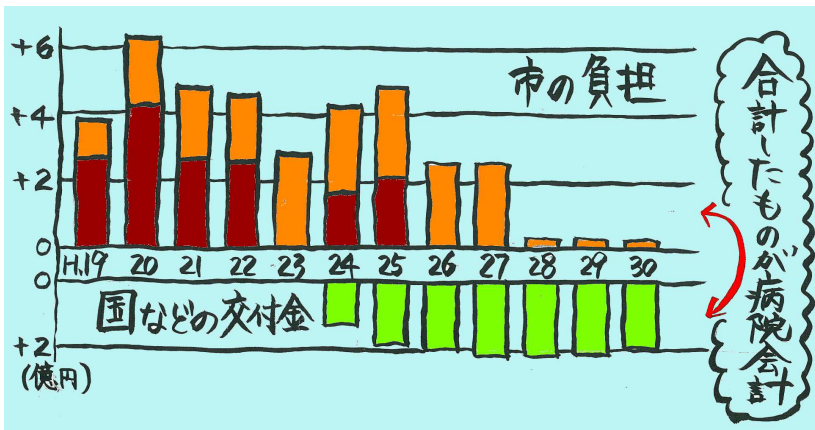
市政の是々非々10選

市政の「是」・・・良いところ

- (1) 財政の安定
 - (2) 健康と医療について
 - (3) 観光について
 - (4) 駅のバリアフリー化
 - (5) 防災対策
- 市政の「非」・・・改善すべきところ
- (6) 人口増加について
 - (7) 自治会の加入率向上
 - (8) 住民センターをどうする？
 - (9) 国際交流について
 - (10) インフラに対して

財政の安定

まず、何はともあれ、ここ数年で阪南市が大きく良くなったこと。それは「財政の安定」です。その中でも一番大きな要因は、「市民病院の指定管理者制度」であると言えます。平成25年4月に新築オープンした阪南市民病院、現在は医療法人生長会さんにお世話になり、着実に地域医療の中核として進んでおります。阪南市の財政的に病院会計にクローズアップし、見てみます。



健康と医療について

阪南市の病院会計のグラフです。市の財政負担が平成20年には6億円を超えておりました。市負担のグラフの色の濃い部分は「赤字補てん」。平成23年に指定管理者制度が採用され、病院会計が改善、平成28年以降は安定する予定です。

この病院会計の安定により阪南市の財政全体に余裕が生まれ、様々な事業に取り組みようになりました。

阪南市は「スマートウェルネスシティ」として「高齢になっても地域で元気に暮らせる社会」をめざしています。

- ① 食文化の向上
- ② スポーツ・生涯学習の活性化
- ③ 産業振興・都市基盤整備

【健康に！ 幸せになる！】

- ① 市の医療費・国保料が下がる。
- ② 子育て・教育の活性化
- ③ 阪南市の発展

以上、こんな構図です。

観光協会について

いよいよ、(仮称)観光協会発起人会がこの2月に立ち上がり、平成26年度早い段階での協会設立に向かっ



ほぼ毎日更新中！

<http://blog.zaq.ne.jp/macjoe2/>



阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載!!

ご希望の方には
さかそう通信
郵便配達

いたします!
右記までお問い合わせ
お願いします。

市政相談・お問い合わせ
お気軽に 上甲誠市政相談所へ



大阪府阪南市舞 4-30-2

電話 072-474-9211

メール mac@j.zaq.jp

ています。山ほど、海ほどある「阪南市の魅力」活用に向け、全市を挙げて盛り上げてまいります!

駅のバリアフリー化

鳥取ノ荘については平成26年度から周辺道路の計画などが始まり、平成28年度中を目途にバリアフリー化。和泉鳥取駅バリアフリー化については現在、高架下の狭い道路も含めてJRさんと協議が始まっています。

防災対策

自主防災組織率やインフラについてはまだまだですが、小中学校耐震化、避難訓練、住宅の耐震診断や補強補助については積極的に取り組んでくれています。詳しくは危機管理課へお尋ねください。

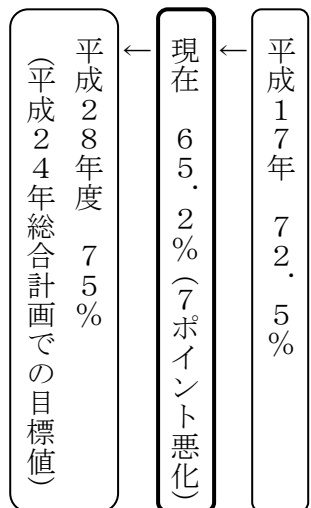
人口増加について

阪南市の人口は現在、57400人。平成24年度に発表されました「総合計画」において、人口推移は平成33年には5万4千人まで減少する。と明記されています。

現実的にこの5万4千人目指して進む(後退する?)と色んな事業が消極的で「阪南市は人口減少で仕方がない」この一言で全て片づけられてしまいます。やはり人口増加を目標に、前向きに頑張ら

なくてはなりません。

自治会の加入率向上



これを達成するためには、市長の大きな施策、革新が必要であります。

住民センターはどうなる??

阪南市には43か所の住民センターがあります。中には老朽化の進んでいるものも少なくありません。住民センターのうち36か所は避難所として指定されており、うち耐震化しているものは13か所だけ。今後、市の負の遺産となってしまうように、住民センターの将来に対する方向付けを今、しなければなりません。

国際交流について

その昔、阪南市は国際交流について大阪府下でも先駆者であり、東鳥取公民館を中心に活発に活動されておりました。現在、市の「国際交流協会」はありません。昨年の6月議会で市長

が「国際交流事業の体制整備に取り組み」とお答えいただき、その後少しずつ話が進んではいますが、関西空港へのインバウンド(外国人観光客誘致)の観光に積極的にアピールする阪南市、スピードアップが必要です。

インフラに対して

小中学校の校舎、体育館の耐震化が進んでいます。そのことに対しては本当に感謝いたします。しかし、阪南市にはまだまだ下水道、上水道、道路、橋梁、市庁舎、港湾、住民センター、公民館、その他関連施設があります。これから、でございます。

まとめ

以上、私の市議会議員としてのスタンス「すべては是非々に」ということに特化してお話しました。これから真剣に阪南市の将来のため考え、議論していきたいと考えます。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

これからも「生懸命頑張ります。ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲 誠を今後ともよろしく願います。